

【知的障がい】
（十勝圏）

十勝
管内

北海道帯広養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒080-2475 帯広市西25条南2丁目7-3
- 問 合 せ 先 T E L 0155-37-6773
F A X 0155-37-3649
E-mail obihroyougo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.obihroyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「明るく、豊かに、たくましく、自ら考え、社会に生きる人を育てる」
- 目指す児童生徒の姿
○学んだことを生活に活かせる児童生徒
○自分のことばで理解、表出できる児童生徒
○自分で考え、やりたいと思える児童生徒



□ 概 要

本校は昭和53年に小学部、中学部が開校し、平成10年には高等部が開設された知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。近年、児童生徒の増加に加え、医療的ケアが必要な児童生徒や盲・聾学校からの入学等、障がいの多様化、重度・重複化が進んでおり、生徒の実態は多種多様になってきています。本校高等部では卒業後の自立と社会参加を目指し、知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえた指導を行っています。また、生徒一人一人が自分のもっている力や個性を発揮することで、日々の充実感や自分が社会にとって役立っていることを感じ取り、社会生活に積極的に関わろうとする力を養います。寄宿舎では、家庭が遠隔地の生徒と一緒に生活しており、一人一人の生活課題に応じた生活力の育成を目指して定着を図っています。

■ 特色ある教育活動

□ 高等部の教育目標

～ 地域社会の一員として充実した生活を送るために必要な力の育成を図る ～

「卒業後豊かな生活を送ることができるために、施設や地域社会で求められる力の育成」を教育方針としています。「今のこの指導は、生徒の将来にどう役立つのか」、「今のこの指導は、生徒の現在の生活をどう豊かにするのか」を考え、指導しています。

卒業後の豊かな生活は、現在の小さな「できた」の延長線上にあります。小学部(小学校)・中学部(中学校)での積み重ねをさらに深化させ、青年期における「今の充実」と「将来の充実」に努めています。

【 現場実習・前提実習 】

現場実習は、社会資源を活用した体験活動であり、社会生活につながる効果的な学習です。

第1・2学年は、9月に6日間の実習を行います。第2学年は、10月から2月にかけて1～3日程度の体験実習も計画しています。第3学年は、6月から9月をめぐり卒業後の生活を見据えた実習先で10日間程度実習を行います。

入学時から卒業後の生活・進路への具体的な見通しをもてるよう、進路学習と結び付けて段階的に現場実習を実施しています。

【 自立活動 】

自立活動では、生徒それぞれの学習上や生活上の課題について、得意なことや好きなことを活かしながら解決を図っていく学習です。本校では、生徒の実態に応じて自立活動の時間を柔軟に設定することができ、卒業後の自立した社会生活を見据えながら、生徒それぞれにとって必要な力を見定めながら、学習を進めることができます。



高等部祭の様子



現場実習の様子(校外)



ALT交流の様子



生徒会活動の様子



現場実習の様子(外注班)



作業学習の様子

■第1学年の週時程表

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	自立活動				
3	作業学習 / 自立活動	作業学習	国語/ 自立活動	音楽	生活単元 学習
4			数学/ 自立活動	美術	
5	生活単元 学習	体育	日常生活 の指導	総合的な 探究の 時間	LHR (生徒会 活動)
6					日常生活 の指導
7	日常生活 の指導	日常生活 の指導		日常生活 の指導	

■教育課程の特徴

作業学習や生活単元学習、日常生活の指導を中心に据え、国語や数学などの教科の学習、総合的な探究の時間、自立活動等を適切に配置し、教育課程を編成しています。卒業後の家庭生活、社会生活、職業生活に結び付く知識・技能や自ら考え表現する力、新しいことにも意欲的に取り組む力を付けるべく教育活動を展開しています。

また、国語、数学、作業学習、自立活動を選択できるようにすることにより、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた授業を行っています。

各学習の指導体制については、学年を中心に検討し、生徒の実態、単元、題材等を考慮しながら必要に応じて学年の枠を越えたグループ編制を行うなど柔軟に設定しています。

□ 作業学習

作業活動を中心に据えて、働く意欲を培い、将来の社会生活や職業生活、自立に必要な知識や技能、態度及び習慣などを身に付ける学習を行います。第2、3学年は、終日作業学習を行う曜日を設定しています。

※ 授業時数：第1学年 週2又は4時間

第2、3学年 週2、4、6時間

※ 現場実習

(9月：6日間、※3学年 前提実習：10日間程度)

□ 自立活動

毎日同じ時間に設定することで、生徒が見通しをもち、主体的に活動に取り組むことができるようにしています。

※ 授業時数：第1学年 週5、7、9時間

第2、3学年 週3、5、7、9時間

□ 生徒会活動

より良い学校生活を主体的に築こうとする自治的能力を育成し、責任感をもちさせることを目指しています。地域の大人や社会との関わりを深める社会貢献活動を月に1時間程度設定しています。

* 登校時間 8：45 (月・火・水・木・金)

* 下校時間 14：45 (月・火・木) 13：15 (水)

13：55 (金)

■卒業後の主な進路先について (令和5年度実績)

- 一般就労 (就労継続A型含む) ~2名
- 福祉的就労 (移行支援/就労継続B型/生活介護/自立訓練) ~18名

学校のWebページ



十勝管内

北海道新得高等支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒081-0032 上川郡新得町西2条南7丁目2
- 問 合 せ 先 TEL 0156-64-2020
FAX 0156-64-2021
E-mail shintoku2016-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.shintoku2016.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「自ら立ち、共に認め支え合い、
自信と勇気を持って、未来に踏み出す」
- 校 訓
「自主」「協働」「自省」
- 概 要
本校は平成28年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校です。木工科、家庭総合科の2学科を設置しています。生徒の学習上の特性等を踏まえ、新得町の豊かな地域資源を活用した作業学習などの学習を通して、「生徒一人一人の『生きる力』」を養う教育を行っています。



■特色ある教育活動

- 【 木工科 】
木工科では、ツールやベンチ、レーザー加工機によるネームプレートなど、木工製品の製作を中心とした学習活動を行っています。
- 【 家庭総合科 】
家庭総合科では、縫工作業、製菓、コーヒーの焙煎などを中心とした学習活動を行っています。
- 【 校外作業学習 】
第1学年は9月に1週間、第2学年は6月に1週間、新得町内の企業等にご協力いただき、地域社会の中で実際に体験しながら「働く」ことを学びます。リゾート施設や福祉施設、新得町内の企業などで学習を行います。
- 【 さくらプロジェクト 】
本校の生徒が、町内の新入学児童に向けて木製いすや給食セット（エプロン・三角巾）等の製品を製作し、入学記念品として贈呈します。この取組は新得町と共同で行う社会貢献事業です。働く意義を理解し地域に貢献する態度を養うとともに、自己有用感、自己肯定感を育てることを目的としています。
- 【 ICT機器の活用 】
パソコンやタブレット端末などのICT機器を積極的に活用した授業を実践し、効果的な学習活動を展開しています。



木工科：木材加工



家庭総合科：縫製作業



家庭総合科：製菓作業



校外作業学習



さくらプロジェクト記念品の贈呈



ICT機器を活用した学習

■第1学年生徒の週時程表

【第1学年木工科】

	月	火	水	木	金
1	保/自	保/自	保/自	作業学習	保/自
2	外国語	作業学習	作業学習		国語
3	社会				保健体育
4	情報	音楽			
5	数学	作業学習	美術	職業	LHR
6	選択			理科	総合

【第1学年家庭総合科】

	月	火	水	木	金
1	保/自	保/自	保/自	作業学習	保/自
2	外国語	作業学習	作業学習		国語
3	社会				保健体育
4	情報	音楽			
5	数学	作業学習	家庭	職業	LHR
6	選択			理科	総合

※保＝保健体育 自＝自立活動の指導

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 8:30 (月～金)

* 下校時間 15:05 (月～金)

■教育課程の特徴

国語や数学などの各教科の学習を中心に教育課程を編成しています。また、作業学習では、働く力を身に付けることを目的に、所属する学科で行う作業学習や、校外作業学習を実施しています。

□ 自立活動の指導

自立活動を時間割に位置付けて指導を行うとともに、教育活動全体を通して自立活動の指導を行っています。

□ 選択授業

国語、数学、理科、社会、外国語、情報、家庭、保健体育、音楽、美術の教科から興味のある授業を選択し、主体的に学習に取り組む機会を設定しています。

□ 保健体育

金曜日3校時の授業の他に、1校時に体力向上を目的として、継続的に運動する時間を設定しています。

※保健体育は各学年で行う1単位の授業の他に、月～水と金に行う全学年合同の授業があります。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続A型含む）～9名【小売、食品製造、土木、木材加工等】
- 福祉的就労～4名【就労継続B型】

学校のWebページ



十勝管内

北海道中札内高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住所 〒089-1345 河西郡中札内村東5条南1丁目8番地
- 問合せ先 TEL 0155-68-3266
- FAX 0155-67-2077
- E-mail nakakoyo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.nakasatsunaikoutouyougo.hokkaido-c.ed.jp>
- 学校X(旧Twitter) https://twitter.com/nakakouyou_1



■本校の概要

- 学校教育目標
「心豊かに生きる力を育てる」
- 校訓
「 仲よく 」 「 明るく 」 「 たくましく 」



学校ゆるキャラ
「さないくん」

□ 概要

本校は昭和58年に開校した高等養護学校です。知的障がいのある生徒が学校生活や社会の中で健康的に、互いを尊重し合い、主体的に生活し、意欲的に働く力を養うことを目指し、学習に取り組んでいます。職業学科5学科と普通科を設置しています。

寄宿舎を併設しており、居住地が遠隔などの理由により通学困難な生徒は入舎することができます。寄宿舎では基本的生活習慣の確立を目指し、集団生活のルールを守り生活しています。



■特色ある教育活動

【 農業科 】

野菜、花、菌生しいたけの栽培や管理、校内外での販売活動に取り組みます。冬期には、乾燥野菜の製造及びドライフラワー製品の製作に取り組みます。各作業を通して体力の向上を図り、共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付けます。

【 木工科 】

材料取りから切削（機械操作）、研磨、組立て、塗装を行い、木べら、木のおもちゃ、椅子などの製品づくりに取り組みます。また、木材の種類や特徴などについて学習します。共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付け、機械操作を通して安全への配慮などについて学びます。

【 窯業科 】

粘土を使用し、機械ろくろやよりづくり、板づくりなど、様々な方法で、皿や茶碗、コーヒーカップなどの製品づくりに取り組みます。また、校内外での販売活動や受注製作にも積極的に取り組みます。各作業を通して集中力の向上を図り、共同作業や分担作業を通して協調性などを身に付けます。

【 工業科 】

コンクリートの打ち込み、型枠掃除、製品管理、歩道平板の敷設などを行い、歩道平板や民地仕切り石などの製造に取り組みます。また、降雪期には、真鍮や銅などを使った表札やキーホルダーなどの金属工芸に取り組みます。各作業を通して体力の向上を図り、共同作業や安全作業などを通して協調性などを身に付けます。

【 家庭総合科 】

縫製作業とビルクリーニング（住居の清掃）作業に取り組みます。縫製作業ではミシンを使用した製作を中心に、校内外の販売活動や受注製作に取り組みます。ビルクリーニング作業では、窓ガラス清掃等に取り組みます。各作業を通して集中力の向上を図り、共同作業や安全作業などを通して協調性などを身に付けます。

【 普通科 】

国語や数学などの各教科等の学習を中心に、幅広い知識や技能の習得を目指します。また、職業の授業では、自己選択をしながら幅広い職業体験等を行い、自らの進路を考え、決定する力を育てます。



農業科：花の栽培



木工科：機械での加工



工業科：コンクリート作業



窯業科：成型作業



家庭総合科：ビルクリーニング作業



普通科：コンテナの洗浄（職業）

■第1学年生徒の週時程表

	月		火		水		木		金	
	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科	職業 学科	普通 科
1	体力づくり				音楽/ 美術/ 保健体育		体力づくり			
2	国語/数学						国語/数学			
3	作業 学習	職業	作業 学習	職業	生活 単元 学習	社会 理科	生活 単元 学習	家庭 / 外国 語・ 情報	作業 学習	職業
4										
5	作業 学習	職業	音楽/ 美術/ 保健体育		全校集会/ 生徒会		音楽/ 美術/ 保健体育		LHR	
6										

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

□ 自立活動の指導

本校では、生徒の障がいの状態や発達の程度に
応じて、個別の指導テーマを設定し、作業学習や
体力づくりのほか、教育活動全体を通じて適切に
指導しています。

* 登校時間 8:30 (月~金)

* 下校時間 15:20 (月・火・木) / 14:00 (水・金)

■教育課程の特徴

□ 作業学習（職業学科）

職業自立に必要な基礎的な知識や技能、態度
及び習慣を身に付けることをねらいとし、所属
する学科の作業内容を3年間学習します。

□ 生活単元学習（職業学科）

暮らしに関すること、命と健康に関するこ
と、性に関すること、日本と世界に関するこ
と、学校行事に関することなどを中心に、社会
自立するために必要な、目標を達成したり課題
を解決したりできる力を身に付けることを目指
して学習します。

□ 総合的な探究の時間（全学科）

現場実習に関わる進路学習や他校との交流学
習、地域連携学習に取り組みます。

地域の方々との体験活動である地域連携学習
を通して、生徒が自己の在り方や生き方、卒業
後の生活を考え、主体的に進路選択できる力を
身に付けます。

□ 職業（普通科）

将来の職業自立を目指し、自ら学ぶ内容を選
択しながら、校内での実習や企業等での現場実
習などの幅広い職業体験を通して、働くこと
について学習します。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 就職～15名（一般就労12名【製造業、小売業、建設業等】就労継続A型3名）
- 福祉的就労～25名【移行支援事業所、就労継続B型、自立訓練】
- 進学～2名【障害者職業能力開発校、はまなす食品株式会社能力開発センター】
- その他～1名

学校のWebページ



十勝管内

北海道中札内高等養護学校幕別分校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒089-0615 中川郡幕別町南町81番地1
- 問 合 せ 先 TEL 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122
E-mail naka-makubun-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.naka-makubun.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「たくましく明るく生きる力を育てる」
- 校 訓
自 立 「十勝で働き、十勝で暮らす人間」
共 生 「共に生きる、共に育つ人間」
克 己 「自らを律し、豊かな思いやりのある人間」
実 現 「自らの夢や希望を実現する人間」



□ 概 要

本校は、平成25年4月に開校した、通学型の高等支援学校です。知的障がいのある生徒を対象に、専門的に職業教育を行う学校として、学校内のみならず、地域、企業と連携した学習活動を行っています。卒業後の進路は、主に一般就労を目指します。令和2年度に併設していた幕別高校が閉校となり、令和3年度より幕別分校単独で校舎を利用しており、広い校舎を有効活用し学習活動を行っています。

■特色ある教育活動

社会自立～自己を理解し、自分に自信をもち、必要なサービスを活用して、自らの人生を主体的に生き、社会参加していくために、「働く力」「暮らす力」「関わる力」「人間性」を身に付ける。

【 個別最適な学びと協働的な学び 】

各教科の授業は、少人数集団できめ細やかな指導・支援が行えるよう、クラスごとの授業を基本としています。作業学習、音楽、美術については学年ごとに行っています。

また、作業学習の一部では縦割り、トレーニングは希望制の縦割り、保健体育は学習によって全学年など多様な学習集団で学ぶことができますようにしています。

【 産業総合科の作業内容 】

産業総合科では、働く力を育むために様々な作業内容を学習します。また、地域から依頼される作業（環境整備や美化作業）を行い、「働く力」「暮らす力」「関わる力」「人間性」などの社会参加するための力を総合的に身に付けます。

【 現場実習・働く力の育成 】

現場実習は第1学年で1回、第2学年で2回、第3学年で1回行っています。

また、毎週木曜日に自分の力で事業所に出勤し、働き、帰宅するという学習を行っています。その他、一日作業学習を行う労働週間を設定し、「働く意識」を高めます。

【 ICT機器を活用した学習活用 】

一人一台端末を整備し、情報の時間だけではなく、各授業で活用しています。



卒業生を送る会



ICT機器を活用した授業



見学旅行：羽田空港にて



学校祭：ステージ発表



現場実習：野菜の集荷作業



作業学習：ミシン作業

■第1学年生徒の週時程表

【 第1学年（1組） 】

	月	火	水	木	金
1	トレーニング		作業 学習	作業 学習	トレーニング
2	音楽	美術			数学
3	家庭	外国語			国語
4		情報			社会
5	保健 体育	作業 学習	数学	総合的 な探究 の時間	理科
6			国語	職業	LHR

■教育課程の特徴

第1学年は、週3回、1校時にトレーニング（主に体力づくり）、作業学習は週10時間、清掃作業を中心に、町内の環境整備や美化作業、カレンダーの袋詰め、紙折り作業など様々な学習活動を行っています。

第2学年では、自分の力で事業所に出勤し、働き、帰宅するという学習を行います。

□ 各教科等の学習内容

各教科においては、卒業後や現在の生活に活用できるような内容を学習しています。総合的な探究の時間では、自己の課題や疑問、テーマを設定し、それらについて調べ解決を目指す学習を中心に行います。作業学習では、現場実習の事前、事後の学習の他、働く上で大切なことやビジネスマナーを学んでいきます。また、施設職場見学や卒業生を招いて職業講話なども行っています。

□ 自立活動の指導

生徒の実態に応じた内容をトレーニングの時間に一人一人に応じて指導を行っているほか、教育活動全体を通じて行っています。

- *登校時間 8：25（月～金）
- *下校時間 15：05（月～金）
- *月1回程度、午前授業の日もあります。

■卒業後の主な進路先について（令和5年度実績）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～6名【卸売業・小売業4名、製造業1名、生活関連サービス業1名】
- 福祉的就労～3名【就労継続支援B型2名、自立訓練・就労移行支援1名】
- その他～1名

学校のWebページ

